

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		傷痍軍人会運営支援事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 古武城 卓
	施策	16	高齢者・障害者の自立促進と社会参加	所属課	福祉課	担当者名 狩野紀彦
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実	所属班	社会福祉班	(内線) 2136
				法令根拠	合志市補助金交付規則	

予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	1	事業連番	10427	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12	
														コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 市が戦争に出兵された方々に対して敬意を表し、不戦、平和活動に対しての傷痍軍人会へ補助金を支出する。
【業務の流れ】
 ①事業承認申請書を受理②審査③補助金の内示④補助金交付申請書を受理⑤補助金の交付決定、通知⑥概算払申請書を受理⑦補助金の交付⑧実績報告書を受理⑨補助金の確定、通知(合志市補助金等交付規則による)
 ・役員会、総会への参加
【主な予算費目】
 補助金

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 市が戦争に出兵された方々に対して敬意を表し、不戦、平和活動に対しての傷痍軍人会へ補助金を支出した
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	傷痍軍人会会員
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	戦争に出兵された方々に対して敬意を表す。不戦の誓いのもと、経験を伝えていく。
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	合志市民が対象者に対して敬意の気持ちを持ち、不戦の誓いを新たにす。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア 申請・受付・交付決定・支払い・実績報告、処理時間	H
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア 会員数	人
⑦ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア 総会出席率	%
⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア 広報等へ戦争に対しての記事掲載件数	件

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	47	47	30	30	30	30		25
	(A) 事業費計	千円	47	47	30	30	30	30	25		
		うち指定経費	千円								
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		1
延べ業務時間		時間	15	15	15	15	20	15	8		
(B)人件費計		千円	60	60	60	60	80	60	32		
トータルコスト(A)+(B)		千円	107	107	90	90	110	90	57	0	

活動指標	ア H	10	10	10	10	10	10	10	10	目 標 数 計 画 22 年 度
対象指標	ア 人	35	20	21	21	20	20	20	20	
成果指標	ア %	50	50	40	40	40	40	40	30	
上位成果指標	ア 件	1	1	1	1	1	1	1	1	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 昭和38年戦傷病者戦没者遺族等援護法施行
 平成18年度合志市補助金交付規則

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・戦後60年がたち高齢化が進み、さらに傷病の状況も進んでいる。
 ・会自体が役職をやる方が少なくなり、会の解散等も検討されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・傷痍軍人会より補助金の減額は避けてほしいとの要望があった。
 ・会自体が役職をやる方が少なくなり、会の解散等も検討されている。

事務事業名	傷痍軍人会運営支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 会の活動(補助)を支援することにより、会の活動が活発になり、市民へ不戦の啓発が自然とできて来る。また、地域福祉の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市民で形成されている団体であり、県・国と上部団体も県や国と連携しながら活動しているので、補助金の支出は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 市民で形成されている団体であるので、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 向上させる余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 類似する団体が他にないので、市としても影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似する事業がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 対象者の高齢化も進んでおり、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 対象者の高齢化も進んでおり、戦後60年を過ぎて死亡数も増加傾向にあるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 対象者に弔慰、慰藉を示すことは、市民の不戦の誓いにもつながり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 高齢化が進んでいるので、より懇切な対応が必要である。平成20年度より会の存続についての議論がなされている。 ①目的妥当性については、適切。 ②有効性については、適切。 ③効率性については、適切。 ④公平性については、適切。
---	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 高齢化が進んでいるので、より懇切な対応が必要であり、現状を踏まえて今後の会のあり方の協議に参加することが必要。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

高齢化が進む団体への支援とその方法。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)